

2025 年度  
一般選抜 後期  
総合記述型

# 総合問題

(50点 60分)

-----<注意事項>-----

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の印刷不鮮明等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、記述しなさい。

①氏名欄

全ての解答用紙に氏名・ふりがなを記入しなさい。

②受験番号欄

全ての解答用紙に受験番号（数字）を記入しなさい。

- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

次の文書を読み、問いに答えなさい。

我が国の合計特殊出生率は、2005（平成 17）年に 1.26 となり、その後、緩やかな上昇傾向にあったが、ここ数年低下傾向となっている。2023（令和 5）年は 1.20（概数）と過去最低となり、長期的な少子化の傾向が継続している。

また、2023（令和 5）年に発表された国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和 5 年推計）」によると、現在の傾向が続けば、2070 年には、我が国の人口は 8,700 万人となり、1 年間に生まれるこどもの数は約 50 万人となり、高齢化率は約 39%に達するという厳しい見通しが示されている（図）。

2022 年 12 月に、全世代型社会保障構築会議で取りまとめられた報告書では、本格的な「少子高齢化・人口減少時代」を迎える歴史的転換期のなかで、社会保障政策が取り組むべき課題と取組みの方向性が示された。この中では、「少子化は、まさに、国の存続そのものに関わる問題であると言っても過言ではない」といった厳しい認識も示されている。私たちは、社会保障を含む経済社会の「支え手」の深刻な不足だけでなく、同時に進行する更なる高齢化による労働力の減少と人材不足の恒常化といった深刻な課題への対応も急がなくてはならない。（令和 6 年度 厚生労働白書）

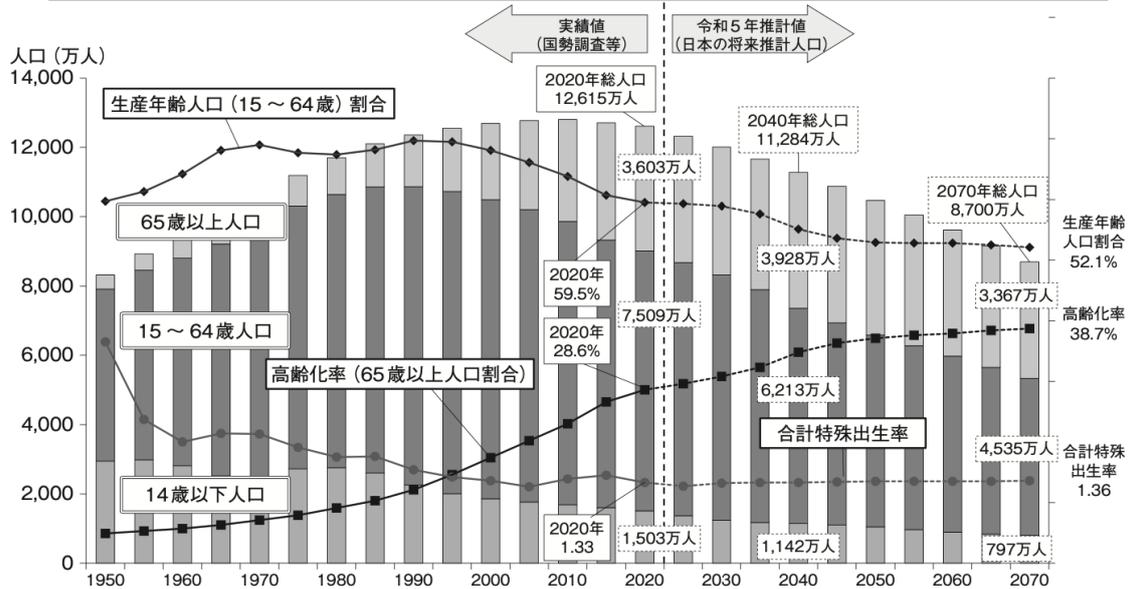
少子高齢化の進展により、今後、我が国では生産年齢人口が減少するが、これは同様の人口動態をたどる先進国やアジア周辺国においても共通の課題となっており、日本は課題先進国としてこの問題の解決に取り組むべきである。さらに、大規模自然災害への備え、地球温暖化問題への対処等、今日、我が国は多くの困難な課題を抱える中、それら課題解決に科学技術が果敢に挑戦し、未来社会の展望を切り拓いていくことが求められている。

こうした背景の中で、内閣官房、内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省及び経済産業省は連携して、今後の未来社会を展望した。困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を対象として、人々を魅了する野心的な10個の目標（ムーンショット目標）を掲げ、これらの目標の実現を推進することとした。表には10個のうちの4つの目標と関連キーワードを示した。（内閣府ホームページ参照）

問. それぞれの目標が実現された時の未来像を、関連キーワードを使用して

200字程度で記述しなさい。

○日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。



(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」「人口推計」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」「(出生中位(死亡中位)推計)」

図. 日本の人口の推移

表. ムーンショット目標

ムーンショット目標	関連キーワード
目標1: 2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現	サイバネティック・アバター*、能力拡張、少子高齢化、労働力不足
目標3: 2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現	AI、ロボット、自ら学習・成長、パートナーAIロボット
目標5: 2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出	ムダのない食料消費システム、食品ロス、食料需給ひっ迫、昆虫食
目標7: 2040年までに、主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく人生を楽しくむためのサステイナブルな医療・介護システムを実現	健康寿命の延伸、生活習慣病、予防医療、がん

\*サイバネティック・アバター: サイボーグやアバターとして知られる一連の技術を高度に活用し、人の身体能力、認知能力及び視覚能力を拡張するICT技術やロボット技術を含む概念







